

Luz y Esperanza

『“Luz y Esperanza” (Light and Hope)』という活動名は、子どもたちへより良い未来のための光と希望をもたらすという意味があります。

ガテマラのマヤ先住民が住む村では、資金がないために学校にいけない子どもたちがまだまだ多くあります。

最近、ある政策でこうした子どもたちへ多少の援助が可能となり、子どもたちが学校へ通うことが可能になって参りました。しかしながら、その他にかかる費用までは準備できていないのが現状です。そんな中、有志からの募金が集まったことをきっかけに2010年12月からこうした活動を開始することになりました。

具体的には学費以外にかかる「学校登録料、学業用品・制服・靴・靴などの提供」支援を目標としております。2011年1月には、アンティグア近郊の「サン・ペドロ・ユパカパ」村に住む合計26名の子どもたちへ「学校登録料、学業用品・制服・靴の提供」を行いました。※2012年は33名1年分の支援を行うのに、3,000ドル(約115ドル/人当たり)の費用が必要となります。

是非、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

【エリザベス・アラウホさん】

(エルサルバドル出身گرانマ)
この国で必要とされていること…、それは先住民が住む村ではお金がなく、子どもたちはマーケットなどで幼いころから働きに出されます。一度、働き手となった子どもたちが、そこから学校へ通うというのはとても難しいものがあります。ですから、幼いころから学校へ行く機会を与えてあげられるということは、彼らにとってより良い将来を築き上げていくためにとても大切なのです。

【カルメン・シニックさん】 (サン・ペドロ・ユパカパ村出身、現在アンティグア在住)

勉強したいという意欲があるのに、行くことができない素晴らしい子どもたちが心が響きました。彼らは学校から帰るとすぐに靴を脱ぎ、学校用品や制服などをとても大切に扱うのです。私はずっと、こうした子どもたちが学校へ行けますように…と創造主に祈ることしかできません。そして、同じように感じて下さる皆さまへ祈りを捧げることしかできません。そうすることで、この活動の使命が果たせたらと思っています。



カルメン・シニックさん

エリザベス・アラウホさん

●○～info@laughychildren.jp へご連絡下さい～○●

あなたはどんな種を未来に残しますか？

“Laughy Children”は古代より受け継ぐ先住民文化や伝統の国際交流活動を通して“Luz y Esperanza”をサポートしています。